

執筆者論文一覽

(親和国文第1~30号)

がかりに—— 11号

大矢数の西鶴 12号

△研究ノート▽浪花城下春翁 12号

岩坪 健

明石利代  
『葦分船』とその文壇関係 9号

一条兼良の秘伝書類——『源語秘訣』の

阿部正美

類書をめぐって—— 24号

△書評▽島居 清著『芭蕉連句全註解』

三条西家の講釈——穗久邇文庫所蔵『覚勝院抄』をめぐって—— 27号

19号

石本行枝

『仙源抄』の系統 29号

「春琴抄」私考 18号

南朝における源氏物語研究の伝承 30号

一木紀子

号

皇極紀の編述に関する一考察 3号

岩見幸恵

乾 裕幸

『あめりか物語』試論——シアトル・タコマ、カラマズーを中心に—— 29号

西山宗因評点考(一)——加判態の確立——

明治時代に外遊した青年達の△△自立△△をめぐる諸問題——『あめりか物語』を中心に—— 30号

3号

西山宗因評点考(二)——『誹諧小相撲』及び『大坂独吟集』所収鶴永独吟百韻—— 4号

植垣節也

翻刻『夢助』解題 5号

家伝上(大織冠伝) 覚え書 1号

西山宗因評点考(三)——西国遊歴出家前後—— 6号

家伝上(大織冠伝) 覚え書——その

—— 6号

兼誼本「鎌足武智麻呂伝」について 4号

△取合せ▽論私見 8号

二—— 2号

重頼と正章の確執をめぐって 9号

豊後国風土記の伝写について 6号

『古俳書目録索引』訂正 9号

豊後国風土記の古注集成稿(上) 8号

西鶴俳諧の読み——『大句数』の一句を手

漱石の学位辞退について 9号

豊後国風土記・古注集成稿(下) 11号

方違神社の祝詞 12号

江藤睦子

捨女覚書——生年と書翰七通について—— 18号

遠藤嘉基

祝いのことば 1号

18号

大内田貞郎

東洋における書物装丁について——わが国への書物形態の受容と印刷の関係—— 28号

大坪利絹

『徒然草』第二百二十八段の「院」なるお方について 14号

『山家集』の清濁に就きて 17号

号

虚権と文学——南北朝の問題—— 19号

『親和国文』第二十号発刊を祝って 20号

去来付句「歌の奥義を知らず候」考——西行説話との関連—— 20号

「三夕歌」その呼称起源をめぐる考察 21号

- 翻刻 親和女子大学蔵『百人一首注』 解  
 説 22号
- 風雅集隨便抄(一) —— 至尊三首 —— 23号
- 安永四年 流布板本 『二四代集 全』 作者部類付疑  
 点考 —— 『二四代集覚え書(一)』 —— 25号
- 翻刻『百人一首秘訣』 解説 27号
- 翻刻 神宮文庫所蔵『徒然草摘議』  
 解説略注 29号
- 上向井サチ子
- 藤原秀能の研究 4号
- 穂田定樹
- 源氏物語の文末助詞の待遇性 1号
- 源氏物語の内話 2号
- △まるる▽△まるらす▽再説 8号
- 漢文体の「致す」 9号
- 漢語 9号
- 唐井清六
- 直井 潔 —— 人と文学 —— 9号
- 直井 潔(一) —— 人と文学 —— 11号
- 直井 潔(二) —— 人と文学 —— 12号
- 「ツチグモ(土蜘蛛)」 —— 解説と総目  
 次 —— 15号
- 瀧井孝作ノオト —— 碧梧桐をむかえての高  
 山での句会 —— 17号
- 瀧井孝作ノオト(一) 19号
- 瀧井孝作ノオト(三) 20号
- 瀧井孝作ノオト(四) 22号
- 瀧井孝作ノオト(五) 24号
- 瀧井孝作ノオト(六) 26号
- 菅野圭昭
- 今西祐行「太郎こおろぎ」の問題点  
 25号
- 向田邦子「字のないはがき」の授業と  
 批評 —— 想像し読み取る部分の授業 ——  
 26号
- 安岡章太郎「サアカスの馬」の表現研  
 究(上) 29号
- 安岡章太郎「サアカスの馬」の表現研  
 究(下) 30号
- 國枝利久
- 翻刻 架蔵本「正徹百首(聖廟法樂詠  
 百首和歌)」 解題 2号
- 法門百首私 —— 釈教歌研究の基礎的作業□  
 8号
- 法門百首私注(一) 9号
- 続詞花和歌集釈教部私注(一) —— 釈教歌  
 研究の基礎的作業(五) —— 11号
- 続後撰和歌集伝本の研究 12号
- 続後撰和歌集伝本の研究(二) 13号
- 小久保伍
- 技巧と意識との関連 —— 白鳥文学に於け  
 る傍観者の位置 —— 3号
- 近松秋江論序説 5号
- 近松秋江論 —— 「黒髪」成立までの作品展  
 開 —— 8号
- 小西美幸
- 「閑居友」について —— 慶政の執筆態度  
 をめぐる一考察 —— 18号
- 小林 勇
- 「貧福論」小考 22号
- △すずらん抄▽『風俗三石土』板本の  
 錯丁に就いて 24号
- 末期洒落本の地名表示に関する一考察  
 25号
- △資料紹介▽『祇園新地 園の夜桜』 28号
- 佚題上方絵本について 30号
- 小林たまみ
- 蜻蛉日記考察 —— 序文を中心として ——  
 18号
- 櫻井武次郎
- 翻刻 嘯山著『有馬たゝび越』 解題 13

号

翻刻『竹巢月居文集』 14号

翻刻『梅室翁紀年録』 16号

翻刻『喜春楽』(梅室八十賀集) 17号

翻刻『さるのめん』(梅室処女撰集)

18号

翻刻『巳四時行』 19号

翻刻 柏奚撰『行々子』 20号

翻刻『今四歌撰』 21号

『大悟物狂』註釈 —— 鸞動・鉄卵追善俳

諧 —— 23号

『あめ子』俳諧註釈 27号

佐藤和夫

与謝野晶子ノート —— 『舞姫』を中心に

—— 17号

黒島傳治ノート 19号

『夢之華』の世界(一) 22号

『夢之華』の世界(二) 23号

『夢之華』の世界(三) 25号

与謝野晶子と有島武郎(一) —— その悲し

き恋の行方 —— 28号

黒島傳治の未発表作品『巡禮』 —— 解

題と本文紹介 —— 29号

芝美紀子

冷泉為廣の研究 7号

島居 清

発刊の辞 1号

安原貞室の書簡二通 1号

芭蕉連句註解 —— 寛文五年「野は雪に」百

韻 —— 2号

芭蕉連句註解 —— 延宝四年「此梅に」百韻

—— 3号

芭蕉連句註解 —— 延宝四年「此梅に」百

韻(統) —— 5号

翻刻『梅十論』 6号

芭蕉連句註解 —— 延宝六年「のまれけり」

歌仙 —— 7号

芭蕉連句註解 —— 延宝三年「いと涼しき」

百韻 —— 8号

島居清教授略歴 編著書・雑誌論文

9号

芭蕉連句註解 —— 延宝六年「青葉より」歌

仙 —— 9号

難語一つ 9号

初夢 10号

芭蕉連句註解 —— 延宝六年「塩にしても」

歌仙 —— 11号

学会創立十周年を迎えて 12号

芭蕉連句註解 —— 天和二年「錦どる」百韻

(一) —— 12号

芭蕉連句註解 —— 天和二年「錦どる」百韻

(二) —— 13号

『冬の日』の構成について 14号

伝芭蕉松島独吟歌仙註解余録 16号

芭蕉連句註解後考稿 17号

芭蕉連句註解後考稿 18号

この十年の記 19号

芭蕉連句全註解を終えて 19号

芭蕉連句註解余滴 —— 芭蕉翁松島独吟疑

解の紹介 —— 21号

白石悌三

△書評△島居清編『俳諧攷』万歳 11

号

親和女子大学国文学研究室編

青空関係書簡集 訂補 27号

△資料△薄田泣菫来簡集 19号

鈴木義和

テハ条件文について 28号

薄田 桂

△特別寄稿△追想記 19号

千古利恵子

続詞花和歌集釈教部私注(一) —— 釈教歌

- 研究の基礎的作業(五) 11号  
 続後撰和歌集伝本の研究 12号  
 続後撰和歌集伝本の研究(二) 13号  
 桑門俊成  
 修辞学の衣がえ —— 文章研究のために —— 7号  
 流転 —— 年譜にかえて —— 8号  
 国語文体論の曲り角 —— ひとつの提言 —— 9号  
 高木洋子  
 出雲国風土記植物考証(上) 12号  
 出雲国風土記植物考証(下) 14号  
 田中 仁  
 「伊勢日記」試論 20号  
 伴高蹊自筆『読雅俗弁』 20号  
 「伊勢日記」試論(二) 21号  
 色々の紙の手紙 —— 『源氏物語』における —— 22号  
 「級長戸風の弁」写本 上下二冊について 22号  
 翻刻 木下幸文自筆『日野まうで』 24号  
 辻 憲男  
 『古事記』音読注の諸形式 19号  
 『古事記』音読注の「重複」「矛盾」をめぐって 20号  
 神宮文庫『倭姫命世記』用語索引 21号  
 額田王序説 —— 作品論の前提として —— 23号  
 春秋のさだめ —— 額田王女説の(一) —— 25号  
 十市皇女序説 —— 三輪山との関わり —— 26号  
 三山歌臆断 27号  
 辻田昌三  
 「をり」と「とき」 9号  
 土志田紀子  
 三島由紀夫研究 —— 『剣』を中心にして —— 18号  
 寺田陽子  
 古事記における后妃記事の検討 18号  
 中井玉紀  
 忍ぶ定子 —— 『枕草子』二七七段と一四三段との間 —— 22号  
 野田雅子  
 乙州 4号  
 蜂矢真郷  
 形状言の重複の一形態 10号  
 動詞ツクをめぐる語群 12号  
 ハ(端)をめぐる語群 15号  
 モドロカス考 —— モデルとマダラとの間 —— 16号  
 尾藤正二郎  
 明治初期における新聞小説の社会的背景 30号  
 深沢三千男  
 〈書評〉 渚江文也著『源氏物語の美質』への思い 17号  
 福田とく子  
 播磨国風土記と伊和大神 5号  
 藤井 守  
 古詩無人名為焦仲卿妻作(一) 1号  
 古詩無人名為焦仲卿妻作(二) 2号  
 古詩無人名為焦仲卿妻作(三) 4号  
 鮑照の賦の制作年代について(一) 7号  
 鮑照の賦の制作年代について(二) 8号  
 渚江文也  
 説話と浮舟ノ物語 1号  
 世語りと源氏物語の僧都 8号  
 「とりあわせ」の美の背後 9号  
 初瀬観音と浮舟 12号

鼠竊のもみぢ — 伊勢集冒頭 — 14号

業平と源氏 17号

紫式部周辺人瑣事覚え書き — 大式三

位と粟田兼房 — 18号

前坊・先帝・一の院 19号

三村昌義

景清伝承試論 — 御霊としての一側面を中

心として — 30号

村上隆彦

「悲報来」について 10号

村野四郎論 12号

村野四郎論 — 自己肯定の姿勢 2 —

13号

李徴について — 中島敦「山月記」書付け

15号

毛利正守

古今集の字余り 15号

萬葉集・オモフの字余りと脱落現象

17号

萬葉集一の二三番「如此尔有良之・然

尔有許曾」の訓読 18号

森本純代

《すずらん抄》武隈の松にこそ目さむ

る心地はすれ — 『おくの細道』私考 —

22号

山崎 馨

箆篋の音 — 會津八一の声詞 — 24号

會津八一作歌私注 — 鹿鳴集における風

の歌 — 26号

會津八一作歌私注 — 山光集、寒燈集に

おける風の歌 — 29号

山崎福之

萬葉集訓義小考 — 本文と訓との関係 —

17号

萬葉集の「誤読」語彙 — 源氏と論語と

に關して — 18号

萬葉集の「彷徨」と「徘徊」について

19号

萬葉集と訓詁 — 「乍」の場合 — 20号

萬葉集卷十六の訓義 — 三八七八番歌に

ついて — 21号

萬葉集の「猶豫」について — 左注

の訓みのために — 22号

山本貴久子

「かげろふ日記」の文体について —

— その文保と表現意識 — 3号

吉井 巖

《書評》植垣節也氏『風土記の研究並びに漢

字索引』 5号

古田洋子

中世前期の《たてまつる》と《まいら

す》 — 平家物語を資料として — 4号

米津江里

《すずらん抄》秋成の「ね」 23号

渡辺悦子

戯曲『泰山木の木の下で』の一考察

3号